

皆さまいかがお過ごしでしょうか。神奈川県ダイハツの松川です。

4月1日には本社横の大岡川の桜は満開となりましたが、寒暖差もあったためかすでに散り始めてしまいました。まるで冬のような気候が続きますが、皆さま体調管理には十分お気を付け下さい。

今回は満開の桜とともに神奈川県ダイハツの一員となった新入社員の入社式の様子をお伝えいたします。



4月1日より、営業スタッフ21名、サービススタッフ20名の総勢41名が新たに神奈川県ダイハツに仲間入りいたしました。今年度は多くの女性スタッフが入社し、例年よりも華やかな印象を受けました。

私からは、「人から学ぶことの大切さ」や「周りへの感謝の気持ちをもつこと」、冒頭でも触れたように「健康管理は十分に気を付けること」など、これから社会人の第一歩を踏み出す彼らに向けて挨拶をさせていただきました。

その後、新入社員の答辞、記念品の贈呈が行われ、緊張した面持ちでしたが彼らの社会人としての意気込みを感じました。



新入社員を代表して、矢地瑞奈さんと齋藤誠くんにこれからの抱負を語ってもらいました。



「皆さまこんにちは！4月1日に入社いたしました、矢地瑞奈です。女性目線を活かして、お客さまにぴったりの1台を提案させていただきたいと思います。覚えることが沢山あると思いますが、先輩方から多くのことを吸収して成長できるように一生懸命頑張ります！どうぞよろしくお願いいたします。」(左)

「初めまして！齋藤誠と申します。現在、軽自動車の普及が広がる中で、私も整備の仕事で普及活動に貢献したいと思い、この度神奈川県ダイハツの一員となりました。今後の目標はダイハツテクニカルスタッフ1級を取得することです。そのために『真心』と『努力』を忘れずに日々頑張りたいと思います！」(右)



新人研修が始まり、会議室からは彼らの元気な声が聞こえてきます。これからは壁にぶつかること、困惑すること、そしてたくさん学ぶことがあるでしょう。

社会人として、神奈川県ダイハツの一員として、彼らが1年後どんな風に成長しているのか私自身とても楽しみにしております。彼らの若い力で、神奈川県ダイハツをさらに盛り上げていってほしいですね。